

新しい年を迎え、清新な気持ちでスタートする1月。年度のまとめになる3学期です。冬休みの楽しい思い出を語り合った後は、冬休みの不規則な生活習慣を引きずらないように、まずは生活を整えましょう。そして、生活や授業のルールを再確認し、学級としての残り3ヶ月間の目標を立てたいものです。 “何となく 今年はいい事あるごとし 元旦の朝晴れて風なし” (石川啄木)



<小学校>

3学期のスタートは、 学級活動でぐーんとクラスカアッフ!

新しい年を迎え、気持ちも新たに登校する子どもたち。1学期、2学期に蓄えてきた力を十分発揮できる活動を考えましょう!

例えば「お楽しみ係主催 大カルタ大会」の開催

- ・学年に応じて企画・運営は、係の子に任せます。
- ・カルタ作り(題材は、冬休みの遊び、1年間の思い出など)を、国語の学習と絡めて考えてみるのもいいですね。
- ・係の分担をはっきりさせ、それぞれの分担がその責任をしっかりと果たすことで、楽しい会ができることを意識して取り組ませましょう。
- ・みんなで楽しんだ後は振り返りをし、係が達成感や満足感をもてるようにしましょう。

担任は、子どもの活動ぶりを見守り、その子に応じて、取組をほめたり、活動方法を一緒に考えたりして、支えていくことが大切です。

一人一人の予防が集団感染の予防に!

「ノロウイルス」はわずかなウイルス(10個でも感染の可能性あり)で感染します。一人一人の感染予防が学級全体の感染症予防につながります。

予防のポイント

- 1 流水・石けんによる手洗い。特にトイレの後はしっかりと手洗いをする。
- 2 具合が悪い人は、給食当番をしない。エプロンをしたままトイレに入らない。床に食器カゴやエプロンを置かない。
- 3 睡眠・栄養・運動で抵抗力を高めよう。
- 4 吐いてしまった人がいたら、処置は先生に任せ、近付かない。



学級では、例えば、次のような活動ができます。

- ・保健委員の児童が紙芝居等で、ウイルスの怖さや予防法を紹介する。
- ・「うがい手洗い頑張りカード」を用意して、うがい、手洗いをしたら自分でシールを貼る。実態に応じたひと工夫ができるといいですね。

<中学校>

「志」を立てよう

新しい年のスタート。生徒が新鮮な気持ちで自分を見つめる節目をつくりたいものです。そこで、次のような活動をしてみてはどうでしょうか。

「志」を立てる活動

- 1 自分の目標や決意を、「志」として決める。思いを凝縮するたぐに、できるだけ端的に、できれば、漢字1文字で表すとよい。
- 2 「志」を色紙に書き、教室の壁面に掲示する。
- 3 「志」に込めた思いを、短学活などを利用して発表し合う。
- 4 その後、午後の短学活で、1日に1人ずつ「志」に照らした振り返りを順番でスピーチする。

担任が、生活ノートで、その子の「志」に触れたコメントを返すのも効果的です。

挑

インフルエンザ感染の特徴を知って 全校でインフルエンザ対策

例年1月下旬にピークを迎え、まずA型が大流行し、春先にB型が流行します。一つの学級が学級閉鎖になると、その後3週間以内に学校内の流行がピークになり、終息まで3~4週間はかかります。

予防のポイント

- 1 重要!!「せきエチケット」
- 2 流水、石けんによる手洗い、加湿、換気。
- 3 睡眠・栄養・運動で抵抗力を高めよう。
- 4 人ごみへの外出をひかえる。



[学級における保健委員の活動例]

- ・「うがい・手洗いをしましたか?」の問いかけカードの作成、掲示
 - ・休み時間ごとの換気、窓の開閉
 - ・マスク着用の呼びかけ
- 担任は、保健委員の活動をサポートするなどして、生徒の意識を高めましょう。